

プレスリリース

超高齢社会を高校生とともに考える

～課題抽出と科学の貢献～

- 12/13(月)13:30 より、川崎市立川崎総合科学高校にて「超高齢社会」をテーマとしたワークショップを開催。
- COINSが「体内病院」の実現を想定する2045年に40代となる現役高校生達に「超高齢社会」問題を自分事として関心をもってもらい、科学的解決策の考案と実装に対するマインドを深めることが目的。
- ワークショップにはCOINS研究者も加わり、最先端の科学に高校生が触れることで化学反応を促進させる。
- 各班のまとめは、1/21(金)に予定する第8回COINSシンポジウムの座談会テーマとする。(12/1 発表プレスリリース参照)

報道関係者 各位

平素は大変お世話になりましてありがとうございます。

文部科学省・科学技術振興機構「センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム」の川崎拠点 (COINS) として、2045年までに「体内病院[®]」の実現を目指す公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター (センター長: 片岡一則、所在地: 川崎市川崎区殿町、略称: iCONM) は、川崎市立川崎総合科学高校 (校長: 荒井利久 先生、所在地: 川崎市幸区小向仲野町) にて「超高齢社会」をテーマとしたワークショップを行います。2045年の65歳以上人口は36.8% (2020年調査では28.8%)、15歳未満人口も10.7% (2020年では12.0%) と少子高齢化は今後も急速に進み、ひとりの高齢者 (65歳以上と定義) を1.4人の生産年齢人口 (15歳以上65歳未満) で支える世の中となります (注1)。その時、今の高校2年生は41歳となり、中堅として社会を支える立場となります。

ワークショップに参加する生徒 (同校科学科2年生 37名) には、超高齢社会の現状を伝える事前授業を10/21に実施し、2045年の暮らしを想像するとともに、そこから派生する課題抽出を行って頂いております。まずは、その課題を持ち寄り、COINS研究者達と深掘りをしていきます。そして、それらの課題を解決するためにはどのような科学技術が必要かを創造し、班ごとにまとめた

ものを発表して頂きます。ここで発表した内容は、1/21 に予定する第8回 COINS シンポジウムの座談会テーマとし、企業、大学、看護、教育、市民リテラシーの立場から検証する予定です（12/1 発表のプレスリリース参照）。

本イベントを通して、高校生には「超高齢社会」の現実を自分事として捉えてもらい、今から課題に取り組む必要性を感じてもらうことで、科学技術へのマインドを醸成したいと考えています。また、煮詰められたアイデアやニーズは、スマートライフケア社会の実現を目指す iCONM の研究の参考にさせて頂く予定です。

注1：内閣府「令和3年版高齢社会白書」に基づく。

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf

実施要領

日 時： 2021年12月13日（月）13:30-15:30

会 場： 川崎市立川崎総合科学高校

アクセス：http://www.kst-h.ed.jp/kst_hp/access.html

取材申し込み：事前申込制。取材ご希望の報道関係者は、
12月6日（月）午後5時までに、メールにてお申込みください。

宛先：jimukyoku-coins@kawasaki-net.ne.jp

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の100%出捐により昭和63年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成27年4月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

センター・オブ・イノベーション（COI）プログラムについて

COIプログラムは、文部科学省・科学技術振興機構の下で進められている研究開発プログラムで、将来社会に潜在する課題から、現在取り組むべき異分野融合・連携型の研究開発テーマをバックキャストして設定しています。企業や大学だけでは実現できないイノベーションを産学連携で実現する拠点が全国に18か所設立されました。川崎拠点は、その中で唯一、大学でなく地方自治体系研究所が管理するCOI拠点であり、そこで実施する研究プロジェクトを、COINS（Center of Open Innovation Network for Smart Health）と呼んでいます。

COI：<https://www.jst.go.jp/coi/>

COINS：<https://coins.kawasaki-net.ne.jp/>

川崎市立川崎総合科学高校について

工業科の課程5科と理数科の課程1科（科学科）を併せ持つ特色のある高等学校です。

工業科の各学科では専門性の高い授業が学べるようになっていました。2年次からは資格取得・就職等をめざすエンジニア・クリエイター系、大学・短大・専門学校進学をめざす進学サポート系、それぞれの進路にあった学習をします。また、体験学習や課題研究を通して判断力・実践力を高めるとともに、時代の変化に主体的に対応できる人間の育成をめざしています。

科学科は川崎・横浜市内公立高校のなかで、最初に設立された理数科の課程です。理工系難関大学進学を目標に、英語・数学・理科の授業時間を豊富に確保しています。

http://www.kst-h.ed.jp/kst_hp/index.html

2021年12月2日